

電子情報通信学会平成 29 年度 第 1 回安全・安心な生活と ICT 研究会で講演しました  
 (2017/05/29-30)

テーマ：ICT, 安全・安心

URL：<http://www.ieice.org/ess/ictssl/>

5月29日(月)～30日(火)の2日間、NEXCO 東日本・仙台東管理事務所 4 階会議室にて、電子情報通信学会・平成 29 年年度第 1 回安全・安心な生活と ICT 研究会が開催されました。電子情報通信学会では、安全・安心な生活のための情報通信システムに関する諸技術を真に役立つ技術とするためには、各技術の研究開発だけでなく、災害時に求められる情報の在り方などの社会科学分野などとの学際的な検討が必要であることから、安全・安心な生活のための情報通信システムに関する諸技術及び社会科学分野の研究者、技術者が集まり、研究交流、情報交換、相互啓発を行い、効率の良い学際的な研究開発の促進することを目的として、「安全・安心な生活と ICT 研究専門委員会」が設置されています。

同研究会では、佐藤翔輔助教（情報管理・社会連携部門）が記念講演と一般講演を、杉浦元亮教授（人間・社会対応研究部門）と佐藤源之教授（災害リスク研究部門）が 2 件の一般講演を行いました。記念講演は、昨年度、研究優秀賞を受賞した発表者によって、受賞を記念して行われる講演です。佐藤翔輔助教は、昨年度の第 1 回研究会で行った一般講演が同賞を受賞しています（[http://www.ieice.org/ess/ictssl/award\\_report.html](http://www.ieice.org/ess/ictssl/award_report.html)）。通常の研究会では発表 10 件程度のところ、多くの申込があり、全 15 件の発表が行われました。質疑応答も活発に行われ、参加者も述べ 40 名と盛会となりました。

【記念講演】

佐藤翔輔：

災害対応におけるソーシャルメディアの有効性と限界  
 ～東日本大震災発生から 5 年間を見ての考察～

【一般講演】

佐藤翔輔，今村文彦ら：災害情報行動の訓練と実際の比較と課題に関する考察  
 ～宮城県石巻市における事例分析～

高橋秀幸，杉安和也ら：マルチエージェントに基づく沿岸部地域向け避難行動支援システム

鄒立龍，佐藤源之：舗装体表面変位の干渉レーダによるモニタリング

佐藤源之ら：マルチスタティック GPR やくもによる舗装体内部損傷の検査

山崎翔平，杉浦元亮ら：問題対応の認知的過程を探る～災害状況の行動実験化

杉浦元亮：災害を生きる力の 8 因子～その認知・脳基盤と計測ツール

※下線は所内構成員



佐藤翔輔助教（記念講演，一般講演）



杉浦元亮教授（一般講演）